



みんながチャレンジ 明日に向かって 本気でGO！

本郷の輝き

横浜市栄区中野町16-1 電話 891-6813

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hongo/>

横浜市立本郷小学校

学校学年便り11月号

令和3年11月30日



変わるものと変わらないもの

副校長 和田 晋治

11月26日(金)に3年生の遠足に同行してきました。暦の上では二十四節気の一つである小雪(しょうせつ)を過ぎていて、冬将軍が訪れる時期ではありますが、当日は抜けるような晴天で実感する季節としては秋真っ只中でした。道々の

木々も紅葉が見ごろで子どもたちからも「いろいろな色の葉っぱが混ざっている。」とか「きれいだなあ。」といった声が自然にあがります。そうした声の中に「ばえるね。」というものもありました。美しさを感じる感性は今も昔も変わらないのだなという思いと、その表現方法は時代背景によって移り変わっていくものなのだと感じました。

今回の目的地の一つである瀬上市民の森へ向かっていく途中に谷戸を通過していきます。私自身本郷小学校の卒業生ですから、この谷戸から山道に入っていく道は自分が小学生だった時に毎年遠足で通った(当時は多くの学年が、円海山の電波塔を目指して遠足に行っていた?という不確かな記憶があります。)道です。そこは小学生のころ記憶に刻まれた懐かしい風景なのです。横浜にもこんなに自然豊かな所がまだあるのだなと感じられる場所の一つではないでしょうか。周辺の様子は建物が建ったり、新しい道が通ったりですっかり変わっていますが。

道端には『ひつつき虫』の仲間であるアメリカセンダングサが実をつけていました。いくつか摘んで、何人かの子どもに「プレゼント!」と言いながら服に付けてみました。すると思っていたのとちがう「え、何これ?」という反応が返ってきたのです。「ひつつき虫と呼ばれているんだよ」と言葉を返してもどこかキョトンとした表情です。この子どもたちにとって『ひつつき虫』はなじみの薄い植物だったのに気付かされました。でも、この子どもたちにとっても「もっと欲しい」「どこにあったの」と『ひつつき虫』はたちまち人気者になりました。昔から変わらず自生してきた身近な草花一つをとっても、時の子どもたちの生活や遊びが変われば、その認知も変わっていくのだと感じました。

近年の遠足も公共交通機関や貸し切りバスを使って行くことが多くなりましたが、今回の徒歩遠足での歩数は私の万歩計で14,315歩でした。アスレチックで走り回った子どもたちはもっと多かったことでしょう。



様々な変化を遂げていく世の中ですが、変わって欲しくない感性や自然があります。また変化を伴う場合でも、持続可能であるかを考え、行動していくことが重要とされています。本校学校教育の中でも持続可能な教育を心がけ、進めていきたいと考えています。